

6月3日

第69回「電波の日」 町が総務省北海道総合通信局長から表彰



総務省北海道総合通信局・北海道テレコム懇談会の主催による令和元年度電波の日・情報通信月間記念式典が6月3日、札幌市ニューオータニイン札幌で行われました。

この表彰は、6月1日の「電波の日」に合わせ、電波利用の発展と促進に貢献した個人・団体が表彰されるもの。今回の表彰は、昨年の北海道胆振東部地震の際に、テレビ中継局に自家発電機を持ち込み放送の継続を支え、地域の安心・安全に貢献したことが評価されました。表彰状を受け取った吉備津副町長は「今後も地域を訪れる皆さんに安心してもらえるようしっかり管理していきたい」と述べていました。

6月2日

花いっぱいでおもてなし 花壇への植栽を実施 | 日の出自治会



日の出自治会(塩沢紀雄会長)の皆さんが6月2日、国道391号から摩周駅前に向かう交差点のロータリーで花壇への植栽を行いました。同自治会が毎年行っているもので、およそ30人が参加。約2千株を丁寧に植えました。この植栽は、日の出自治会、国土交通省釧路開発建設部弟子屈道路事務所、町の3者が協力し、ボランティア・サポート・プログラムで実施され、花の苗は、釧路開発建設部から支給されています。もうしばらくすると、きれいに咲きそろった花が皆さんをお迎えします。

丁寧に花を植える会員の皆さん

5月18日

貴重な固有種を守るために カワユエンレイソウの分布調査を実施

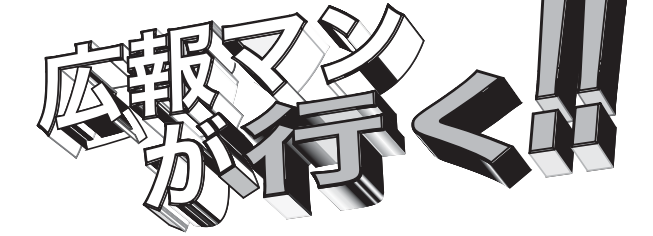


川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが5月18日、カワユエンレイソウ分布調査を行いました。

川湯地域の固有種であるカワユエンレイソウの個体数の変化を調査し、今年で4年目。区画内で生物相を調査するコドラート法で、カワユエンレイソウ、オオバナノエンレイソウ、ミヤマエンレイソウ、そして花無しエンレイソウの個体数を調査。やや減少という結果となりましたが、今後も貴重な固有種の調査を継続的に進めていく予定です。

エンレイソウの見分け方も勉強

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

6月7日

選挙に参加する社会的意義と責任を理解するために 選挙啓発出前講座を開催 | 弟子屈高校



選挙啓発出前講座が6月7日、弟子屈高校(宮崎円校長)で行われ、3年生39人が講座を受講しました。

7月に参議院選挙を控え、選挙権を得る3年生に、選挙に参加する社会的意義と責任を理解してもらうために開催されました。北海道選挙管理委員会事務局釧路支所戸田利之係長の講義、グループ討論、模擬投票、開票を実践した生徒は、「投票をしてみても少し緊張した」「選挙があったらきちんと投票したい」と話していました。戸田係長は、「今回の講座を通じ、選挙の大切さを理解し、必ず投票してほしい」と話していました。

緊張しながらもしっかり投票

6月6日

悲惨な事故を防ごう 川湯で旗の波による街頭啓発



交通事故の多発が予想される夏期を迎え、川湯温泉駅前通りと国道391号が接する交差点周辺で6月6日、旗の波街頭啓発運動が行われました。

川湯での開催は3回目。川湯交通指導員会が主催し、当日は弟子屈警察署や川湯自治会関係者と、今年は老人クラブ豊寿会(大友泰雄会長)の会員など約30人が参加。啓発を行った道路付近は大型車両の通行も多く、観光客の流入が増加する夏季は特に注意が必要です。参加者は安全旗を手に、国道391号を往來する走行車両などのドライバーに交通安全意識の向上を訴え、交通事故防止の徹底を図りました。

交通安全を呼びかける参加者

5月25日

登山客が安全に楽しむために 藻琴山で登山道にロープ張り



川湯エコミュージアムセンターを拠点に活動を行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが5月25日、藻琴山登山道のロープ張りを行いました。

土砂崩れが起きやすい場所や希少植物が群生している箇所などに立ち入らないよう、注意喚起するために毎年行われています。今年も6人が参加し、頂上や屏風岩周辺など全7カ所に設置、ロープ張りのために設置されている杭の打ち直しなどを手際よく行いました。作業を見ていた登山者からは「お疲れさま」と労う声も聞かれました。

ロープ張りの様子

5月22日～24日

大きく育てて帰っておいで 町営牧場に若牛が入牧



5月22日～24日の3日間の日程で、町内の酪農家で育てられた若牛が町営牧場・900草原へ入牧しました。

家畜車で各農家から運ばれてきた牛たち。牧場へ到着すると、体重測定や個体写真の撮影、消毒などを受けた後、広々とした牧場へ放牧されました。

今年も1,345頭もの牛が入牧。これから10月末まで、栄養豊かな牧草を食べ、起伏のある牧場内を元気に走り回り、たくましく成長して畜主のもとへ帰ります。

町営牧場に到着した牛たち

6月9日

ふるさとの思い出話に花が咲く 札幌弟子屈会が開催



札幌近郊に住む弟子屈町出身者で組織する札幌弟子屈会(山田鐵士会長)の第61回総会が6月9日、札幌市で開催されました。今回は町関係者を含め42人が参加。本町からは徳永町長、八幡町議会議長などが来賓として出席。町の近況報告や、6月から始まった公式動画「ムーブ弟子屈」も紹介。動画を観た参加者からは「こんなお店があるのなら行ってみたい」「定期的に見られるなら楽しみにしたい」との声もあり大好評でした。山田会長は「懐かしい面々がそろい、ありがたい。ただ、会員の高齢化が進み、出席者も減少してきている。もっと若い会員を増やしていきたい」と話していました。

全員で弟小校歌を合唱

6月7日

星空の街・あおぞらの街全国大会 プレイベント 月と星の観察会を開催



町主催による月と星空の観察会が6月7日、屈斜路研修センターで開催されました。この観察会は、8月に行われる「第31回星空の街・あおぞらの街全国大会in弟子屈町」のプレイベントとして行われたもので、2月に続き2回目。和琴小学校の児童や先生、地域の方など、20人ほどが参加しました。残念ながら当日の空は、厚い雲におおわれていたため、観察はできませんでしたが、前回に引き続き、りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)の中島克仁さんを講師に招き、惑星の距離をメジャーを使って体験したり、写真などで月と夏の星座について学びました。

メジャーで惑星の距離を実感

5月31日

ネット社会のトラブルに巻き込まれないために 携帯安全教室を開催 | 弟子屈高校



弟子屈高校(宮崎円校長)で5月31日、携帯安全教室がすべての生徒を対象に行われました。この教室は、ネット社会のトラブルに巻き込まれないよう

「安心・安全な携帯電話の使い方」と「使用する時のモラル・マナー、個人情報の管理の重要性」を理解するために開催されたもの。講師として、LINE(株)オフィシャルインストラクター樋口孝一さんを迎え、メッセージカードなどを使ったワークショップを行いました。講師の樋口さんは「携帯電話などを使ったメッセージのやりとりは、直接話すような表情や感情がわかりにくい。十分注意してほしい」と話していました。

グループで検討しながら

5月29日

人々が集う、まちの玄関口を目指して 南弟子屈地域活性化協議会定期総会を開催



南弟子屈地域活性化協議会の令和元年度定期総会が5月29日、旧昭栄小学校で開催されました。

総会では、平成30年度事業報告、収支決算報告および監査報告について報告がなされ承認されました。後半には令和元年度事業計画案、収支予算案について協議が行われ、平成30年度までに取り組んできたライダーハウス運営、特産品開発、酪農体験ツアー、レンタルスペースの4つの活動について、課題を解決しながら地域づくりに向けた取り組みを実施することで決定されました。また、規約の改正、役員改選も行われました。

旧昭栄小学校を地域の拠点に